

製品カテゴリールール (PCR)
(認定 PCR 番号 : PA-111000-AL-04)

対象製品 : タイヤ
Product Category Rule for
“Tires”

本文書は、一般社団法人サステナブル経営推進機構が運営管理する「SuMPO 環境ラベルプログラム」において「タイヤ」を対象とした算定・宣言のルールについて定めたものである。

当該製品・サービスの算定・宣言を行おうとする事業者等は、本文書および「算定・宣言規程」第2項の要求事項に基づいて、算定・宣言を行う。

認定 PCR の有効期限は、最新版 PCR の認定日、改定日または更新日より5年間とする。

この PCR に記載されている内容は、SuMPO 環境ラベルプログラムにおいて、関係事業者等を交えた議論の結果として、PCR 改正の手続きを経ることで適宜変更および修正することが可能である。

PCR レビュー	認定日等	2023年1月6日	
	PCR レビューパネル	委員長 氏名：伊坪 徳宏 所属：東京都市大学	
	準拠する規格	■ ISO14040 : 2006 ■ ISO14044 : 2006 ■ ISO14025 : 2008 ■ ISO/TS14067 : 2013	■ ISO/TS14027 : 2017 □ ISO21930 : 2007

【履歴】

文書番号	認定日等	内容
PA-111000-AL-04	2023年1月6日	改訂 プログラム運営者住所変更
PA-111000-AL-03	2022年4月1日	改訂 プログラム名称変更
PA-111000-AL-02	2019年10月1日	改訂 運営者およびプログラム名変更
PA-111000-AL-01	2017年12月1日	認定

【プログラム情報】

プログラム名	SuMPO 環境ラベルプログラム
プログラム WEB サイト	https://ecoleaf-label.jp/
プログラム運営者	一般社団法人サステナブル経営推進機構
プログラム運営者住所	東京都千代田区内神田 1-14-8 KANDA SQUARE GATE

No.	項目	要求事項
1	適用範囲	
1-1	目的と適用範囲	<p>この PCR は、タイヤを対象とした EPD を公開する際の世界共通の規則、要求事項および指示事項を特定することを目的として World Business Council For Sustainable Development (WBCSD) により作成された。</p> <p>基本となる要求事項は UL Environment による「TIRES」PCR (以下 Core PCR という) に定める。本 PCR は SuMPO 環境ラベルプログラムにおいて算定および宣言を行う際の補遺を定めたものである。</p> <p>Core PCR はこの PCR と一体として運用されるものとする。ただし、Core PCR の権利は UL Environment に帰属する。</p>
2	対象とする製品種別の定義	
2-1	製品種別	<p>「タイヤ」を対象とする。この PCR で対象とする「タイヤ」とは、Core PCR 2.1 タイヤのサブカテゴリで定める以下の製品を指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗用車用タイヤ (Core PCR 2.1.1) ・ 軽トラック用タイヤ (Core PCR 2.1.2) ・ ピックアップおよび配達トラック用タイヤ (Core PCR 2.1.3) ・ 長距離トラック用タイヤ (Core PCR 2.1.4) ・ 地域/舗装道路トラック用タイヤ (Core PCR 2.1.5) ・ オンオフ両用トラック用タイヤ (Core PCR 2.1.6) ・ 送迎バス用タイヤ (Core PCR 2.1.7) ・ 市バス用タイヤ (Core PCR 2.1.8) ・ スクールバス用タイヤ (Core PCR 2.1.9) ・ 地域/都市間リムジンバス用タイヤ (Core PCR 2.1.10) ・ 長距離バス用タイヤ (Core PCR 2.1.11) ・ オートバイ用タイヤ (Core PCR 2.1.12) ・ オフロード用タイヤ (Core PCR 2.1.13) ・ 航空機用タイヤ (Core PCR 2.1.14)
2-2	機能	Core PCR 2.2 システムファンクション (機能) に定める。
2-3	算定単位 (機能単位)	Core PCR 3.1 機能および宣言単位 に定める。
2-4	対象とする構成要素	Core PCR 1.3 タイヤ製品の識別 に定める。
3	引用規格および引用	CFP-PCR
3-1	引用規格 および 引用 PCR	<p>以下の PCR を引用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Core PCR (UL Environment 10006J - Product Category Rules (PCR) for preparing an Environmental Product Declaration (EPD) for the Product Category: Tires Version 3.04 (November 2017) <p>日本語版 : https://www.shopulstandards.com/ProductDetail.aspx?UniqueKey=34120 英語版 : https://www.shopulstandards.com/ProductDetail.aspx?UniqueKey=33672</p>
4	用語および定義	
4-1	用語および定義	Core PCR 2.3 定義と頭字語 に定める。
5	製品システム (データの収集範囲)	
5-1	製品システム (データの収集範囲)	<p>Core PCR 3.2 システム境界 に定める。</p> <p>エコリーフにおいては、製品段階のうち原材料調達(A1) および輸送(A2) を原材料調達段階、製造(A3) を生産段階とする。</p>

5-2	カットオフ基準およびカットオフ対象	Core PCR 3.4 カットオフルール に定める。 投入される部品、素材、容器包装、副資材については、基準フローの質量比で累計5%までとする。ただし、質量が少ないものでも、影響評価結果が大きいと想定されるものは製品システムに含まなければならない。 質量で把握できないフローおよびプロセスについては、試算結果に対して、CO ₂ 排出量比で累計5%までとする。
5-3	ライフサイクルフロー図	Core PCR 3.2 システム境界 に一般的な製品システムの範囲を示す。 エコリーフ/CFP の算定時には、この図から外れない範囲で、算定製品ごとに詳細化したライフサイクルフロー図を作成しなければならない。
6	全段階に共通して適用する算定方法	
6-1	一次データの収集範囲の設定基準	一次データの収集範囲は(7-2)、(8-2)、(9-2)、(10-2) および (11-2) に記載する。
6-2	一次データの品質	Core PCR 4.1 データソースとデータ品質の要件 に定める。 複数の場所の平均データを使用する場合、感度分析は不要であるが、その妥当性は検証で確認するものとする。 【時間に関する範囲の基準】 ・直近の1年間とする。または、直近の1年間と同等の妥当性が得られる範囲とする。
6-3	一次データの収集方法	Core PCR 4.1 データソースとデータ品質の要件 に定める。 一次データの収集には、設計値を用いてもよい。
6-4	二次データの品質	Core PCR 4.1 データソースとデータ品質の要件 に定める。
6-5	二次データの収集方法	Core PCR 4.1 データソースとデータ品質の要件 に定める。
6-6	配分	Core PCR 3.5 アロケーションルール に定める。 配分方法についての感度分析は不要であるが、その妥当性は検証で確認するものとする。
6-7	シナリオ	【輸送に関するデータ収集】 Core PCR 3.6 輸送 に定める。
6-8	その他	【三次データの取り扱いに関する規定】 ・ Core PCR における三次データは二次データと同様の扱いとする。 【生物由来炭素の取り扱いに関する規定】 ・ タイヤ中の生物由来の炭素の固定量は、直接影響としては評価しない。 【複数製品を1つの宣言とする場合の規定】 ・ Core PCR 6.3 同一 EPD への複数の類似製品の記載 に定める。
7	原材料調達段階に適用する項目	
7-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	Core PCR 3.2.1.1 原材料調達 (A1) および 3.2.1.2 輸送 (A2) に定める。 リサイクル材を原料として使用する場合の考え方は、Core PCR 4.3 リサイクル廃棄物の流れ に定める。

7-2	データ収集項目	Core PCR 3.2.1.1 原材料調達 (A1) および 3.2.1.2 輸送 (A2) に定める。 リサイクル材を原料として使用する場合は、Core PCR 4.3 リサイクル廃棄物の流れ に定める。
7-3	一次データの収集方法および収集条件	Core PCR 3.2.1.1 原材料調達 (A1) および 3.2.1.2 輸送 (A2) に定める。 リサイクル材を原料として使用する場合は、Core PCR 4.3 リサイクル廃棄物の流れ に定める。
7-4	シナリオ	Core PCR 3.2.1.1 原材料調達 (A1) および 3.2.1.2 輸送 (A2) に定める。 リサイクル材を原料として使用する場合は、Core PCR 4.3 リサイクル廃棄物の流れ に定める。
7-5	その他	Core PCR 3.2.1.1 原材料調達 (A1) および 3.2.1.2 輸送 (A2) に定める。 リサイクル材を原料として使用する場合は、Core PCR 4.3 リサイクル廃棄物の流れ に定める。
8	生産段階に適用する項目	
8-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	Core PCR 3.2.1.3 製造 (A3) に定める。
8-2	データ収集項目	Core PCR 3.2.1.3 製造 (A3) に定める。
8-3	一次データの収集方法および収集条件	Core PCR 3.2.1.3 製造 (A3) に定める。
8-4	シナリオ	Core PCR 3.2.1.3 製造 (A3) に定める。
8-5	その他	Core PCR 3.2.1.3 製造 (A3) に定める。
9	流通段階に適用する項目	
9-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	Core PCR 3.2.2.1 輸送 (A4) に定める。
9-2	データ収集項目	Core PCR 3.2.2.1 輸送 (A4) に定める。
9-3	一次データの収集方法および収集条件	Core PCR 3.2.2.1 輸送 (A4) に定める。
9-4	シナリオ	Core PCR 3.2.2.1 輸送 (A4) に定める。
9-5	その他	Core PCR 3.2.2.1 輸送 (A4) に定める。
10	使用・維持管理段階に適用する項目	
10-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	Core PCR 3.2.3.1 使用 (B1) および Core PCR 5.使用ステージの計算 に定める。
10-2	データ収集項目	Core PCR 3.2.3.1 使用 (B1) および Core PCR 5.使用ステージの計算 に定める。
10-3	一次データの収集および及び収集条件	Core PCR 3.2.3.1 使用 (B1) および Core PCR 5.使用ステージの計算 に定める。
10-4	シナリオ	Core PCR 3.2.3.1 使用 (B1) および Core PCR 5.使用ステージの計算 に定める。

10-5	その他	Core PCR 3.2.3.1 使用 (B1) および Core PCR 5.使用ステージの計算 に定める。
11	廃棄・リサイクル段階に適用する項目	
11-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 (C1, C2, C3a,C3b) に定める。
11-2	データ収集項目	Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 (C1, C2, C3a,C3b) に定める。
11-3	一次データの収集方法および収集条件	Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 (C1, C2, C3a,C3b) に定める。
11-4	シナリオ	Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 (C1, C2, C3a,C3b) に定める。
11-5	その他	Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 (C1, C2, C3a,C3b) に定める。
12	LCI 計算、環境影響評価に関する項目 (エコリーフによる宣言にのみ適用する項目)	
12-1	LCI 計算の考え方	Core PCR 4.7 インパクトとインベントリの結果 に定める。 ただし、インベントリデータベースは IDEA を用いる。
12-2	環境影響評価項目および特性化係数の追加	Core PCR 4.7 インパクトとインベントリの結果 に定める。 ただし、環境影響評価手法は LIME を用いる。
13	宣言方法	
13-1	登録情報	Core PCR 6.1 宣言される一般情報 に定める。 【記載内容に関する規定】 以下の項目を記載する。なお、SuMPO 環境ラベルプログラムの宣言様式における必須記載事項は本項には記載していない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造者名および所在地 (問い合わせ先に記載する) ・ 対象タイヤ製品の名称 (型名を含む) および簡易な視覚的表現による製品識別情報 ・ EPD の適用地域 (追加情報に記載する) ・ 製品の仕様 (13-2 製品の主要仕様・諸元に定める) ・ 材料組成に関する記載 (13-5 エコリーフ 材料および物質に関する構成成分の表記に定める) ・ 使用するソフトウェアに関する記載 (13-10 その他二次データの考え方欄の必須記載事項に定める) ・ 追加情報に関する記載 (13-8 追加情報に定める) ・ (該当する場合のみ) シリーズ製品に関する記述 (13-10 その他に定める) 【任意記載事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイヤにラベル表示がある場合、任意で図示してもよい。 ・ ライフサイクル段階、フローを表す図、環境影響の寄与度を表すグラフ等を追加してもよい。
13-2	製品の主要仕様・諸元	製品の仕様としては、以下の内容を記載する。 【必須記載事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Core PCR 2.4.4 仕様 に定めた内容 <ul style="list-style-type: none"> - タイヤのサイズ - 質量 - 用途 (Core PCR 2.1 タイヤのサブカテゴリー参照) - 公称タイヤ幅

		<ul style="list-style-type: none"> - 偏平率 - 布製ケーシングの構造 (1層、2層、ポリエステル、ナイロン等) - リム径 - 荷重指数 - 速度レーティング - 適用される市場でのラベル表示義務 <ul style="list-style-type: none"> ・ リトレッドの可能性 ・ 転がり抵抗係数 (代表製品のグルーピングの平均値) <p>【任意記載事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可能であれば、タイヤの標準サービス寿命 (RSL) を記載することが望ましい。 ・ 表示義務のあるラベルの画像を表示してもよい。 <p>【その他】</p> <p>グルーピングを行い、シリーズ製品として公開する場合は、宣言に含まれるすべてのタイヤの種類を記載する。</p>																																														
13-3	エコリーフ ライフサイクル影響評価 結果	<p>以下の領域を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動 ・ 酸性化 ・ 富栄養化 ・ オゾン層破壊 ・ 光化学オキシダント ・ 資源消費 																																														
13-4	エコリーフ ライフサイクルインベントリ分 析関連情報	<p>【エネルギー消費量および水消費量に関する情報】</p> <p>以下の項目を記載する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>IDEA 基本フローコード</th> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>001172001</td> <td>ウラン、U3O8</td> <td>MJ</td> <td rowspan="7">IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「非再生可能エネルギー」 として合算表示して もよい。</td> </tr> <tr> <td>001201001</td> <td>原料炭、 29.0MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001202</td> <td>一般炭、 25.7MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001203001</td> <td>褐炭、 17.2MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001205001</td> <td>原油、 44.7MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001206001</td> <td>天然ガス、 54.6MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001207002</td> <td>天然ガス液、 46.5MJ/kg ※1</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001211</td> <td>一次エネルギー (地熱)</td> <td>MJ</td> <td rowspan="4">IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「再生可能エネルギー」 として合算表示してもよ い。</td> </tr> <tr> <td>001421</td> <td>一次エネルギー (太陽光)</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001422</td> <td>一次エネルギー (風力)</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001521</td> <td>一次エネルギー (水力)</td> <td>MJ</td> </tr> <tr> <td>001511000</td> <td>資源, 表層水, 水圏, 取水</td> <td>m³</td> <td rowspan="2">IDEA v2 の基本フローを 表示する。「淡水資源の利 用」として合算表示して もよい。</td> </tr> <tr> <td>001515000</td> <td>資源, 地下水, 水圏, 取水</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 は IDEA v2 の物質名を記載している。熱量換算 (MJ/kg) の表示は登録情報に記載する際は削除してもよい。</p>	IDEA 基本フローコード	項目名	単位	備考	001172001	ウラン、U3O8	MJ	IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「非再生可能エネルギー」 として合算表示して もよい。	001201001	原料炭、 29.0MJ/kg ※1	MJ	001202	一般炭、 25.7MJ/kg ※1	MJ	001203001	褐炭、 17.2MJ/kg ※1	MJ	001205001	原油、 44.7MJ/kg ※1	MJ	001206001	天然ガス、 54.6MJ/kg ※1	MJ	001207002	天然ガス液、 46.5MJ/kg ※1	MJ	001211	一次エネルギー (地熱)	MJ	IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「再生可能エネルギー」 として合算表示してもよ い。	001421	一次エネルギー (太陽光)	MJ	001422	一次エネルギー (風力)	MJ	001521	一次エネルギー (水力)	MJ	001511000	資源, 表層水, 水圏, 取水	m ³	IDEA v2 の基本フローを 表示する。「淡水資源の利 用」として合算表示して もよい。	001515000	資源, 地下水, 水圏, 取水	m ³
IDEA 基本フローコード	項目名	単位	備考																																													
001172001	ウラン、U3O8	MJ	IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「非再生可能エネルギー」 として合算表示して もよい。																																													
001201001	原料炭、 29.0MJ/kg ※1	MJ																																														
001202	一般炭、 25.7MJ/kg ※1	MJ																																														
001203001	褐炭、 17.2MJ/kg ※1	MJ																																														
001205001	原油、 44.7MJ/kg ※1	MJ																																														
001206001	天然ガス、 54.6MJ/kg ※1	MJ																																														
001207002	天然ガス液、 46.5MJ/kg ※1	MJ																																														
001211	一次エネルギー (地熱)	MJ	IDEA v2 の重量ベースの 基本フローを MJ に換算 して表示する。 「再生可能エネルギー」 として合算表示してもよ い。																																													
001421	一次エネルギー (太陽光)	MJ																																														
001422	一次エネルギー (風力)	MJ																																														
001521	一次エネルギー (水力)	MJ																																														
001511000	資源, 表層水, 水圏, 取水	m ³	IDEA v2 の基本フローを 表示する。「淡水資源の利 用」として合算表示して もよい。																																													
001515000	資源, 地下水, 水圏, 取水	m ³																																														

		<p>【粒状物質に関する情報】 以下の項目を記載する。 使用段階におけるPM10およびPM2.5の直接排出量の算定方法はCore PCR 5.1 使用ステージのエネルギー計算のガイドライン および 5.2 タイヤ摩耗計算のガイドライン に定める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用段階におけるPM10の直接排出量</td> <td>kg</td> <td rowspan="2">Core PCR 5.1 使用ステージのエネルギー計算のガイドラインおよび 5.2.5.2 タイヤ摩耗計算のガイドライン参照</td> </tr> <tr> <td>使用段階におけるPM2.5の直接排出量</td> <td>kg</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	備考	使用段階におけるPM10の直接排出量	kg	Core PCR 5.1 使用ステージのエネルギー計算のガイドラインおよび 5.2.5.2 タイヤ摩耗計算のガイドライン参照	使用段階におけるPM2.5の直接排出量	kg									
項目名	単位	備考																	
使用段階におけるPM10の直接排出量	kg	Core PCR 5.1 使用ステージのエネルギー計算のガイドラインおよび 5.2.5.2 タイヤ摩耗計算のガイドライン参照																	
使用段階におけるPM2.5の直接排出量	kg																		
13-5	エコリーフ 材料および物質に関する構成成分	<p>Core PCR 6.1 宣言される一般情報 に定める。 以下の項目の質量を記載する。比率を併記することが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合成ゴム ・ 天然ゴム ・ スチール ・ テキスタイル ・ シリカ ・ カーボンブラック ・ その他の材料（化学薬品等） 																	
13-6	エコリーフ 廃棄物関連情報	<p>廃棄物の計算方法はCore PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 に定める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイヤの廃棄処理</td> <td>kg</td> <td rowspan="5">i) 廃棄時のタイヤ質量と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表14に基づく計算</td> </tr> <tr> <td>再利用の構成部分</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>再生用の材料</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>再生用の材料</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>エネルギー回収用の材料</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>転換エネルギー（エネルギー回収用の材料）</td> <td>MJ</td> <td>i) 指標「エネルギー回収用の材料」と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表15に基づく計算</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	備考	タイヤの廃棄処理	kg	i) 廃棄時のタイヤ質量と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表14に基づく計算	再利用の構成部分	kg	再生用の材料	kg	再生用の材料	kg	エネルギー回収用の材料	kg	転換エネルギー（エネルギー回収用の材料）	MJ	i) 指標「エネルギー回収用の材料」と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表15に基づく計算
項目名	単位	備考																	
タイヤの廃棄処理	kg	i) 廃棄時のタイヤ質量と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表14に基づく計算																	
再利用の構成部分	kg																		
再生用の材料	kg																		
再生用の材料	kg																		
エネルギー回収用の材料	kg																		
転換エネルギー（エネルギー回収用の材料）	MJ	i) 指標「エネルギー回収用の材料」と ii) Core PCR 3.2.4 廃棄・リサイクル段階 表15に基づく計算																	
13-7	CFP 算定結果	気候変動 100年指数（第5次報告書・IPCC 2013）の結果を公開する。																	
13-8	追加情報	<p>【グリーン証書、オフセット等に関する規定】 グリーン証書、オフセット等の認証に関する記載をする場合、その認証の有効期間を記載する。</p> <p>【必須記載事項】 以下の内容を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ EPDの適用地域 ・ 算定対象製品の生産地（代表となる場所） 																	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 算定された影響はタイヤに関するものであり、車両性能との比較には使用できない旨の記述 ・ (EPDにおいて多数の製造工場の平均性能を宣言する場合のみ) 宣言は平均的な性能を表している旨の記述および製造地・製造者または製造者グループ名 ・ LCAに含まれるライフサイクル段階の概略図(別紙として添付する。) <p>【任意記載事項】 タイヤ中の生物由来の炭素の固定量について、間接影響として追加表示してもよい。</p>
13-9	その他エコデザイン関連情報	特に規定しない。
13-10	その他	<p>【二次データの考え方欄の必須記載事項】 以下の内容を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用したLCIデータベース、バージョン番号 ・ 地球温暖化係数への各データベース ・ ソフトウェアを使用して算定を実施した場合は、ソフトウェアの名称およびバージョン情報 <p>【情報モジュール別の表示に関する規定】 環境影響評価結果について、必要に応じ、ライフサイクルの合計値の他に、段階ごと、情報モジュールごとの数値を開示してもよい。</p> <p>【シリーズ製品の算定に関する規定】 シリーズ製品の算定を行う場合は、含まれるすべてのタイヤの種類および関連情報を記載する。</p>
14	その他	
14-1	その他の補足事項	ISO14001、ISO9001への準拠は確認の対象外とする。